

がかかってきて応答する。電話が終わったら友人からLINEメッセージが届く。何だ、飲み会の待ち合わせか、返事を書いて送信。あ、取引先のSさんにメールしなきゃ。メール送信が終わって、もう一度ニュースに戻りたいけど、あれ、画面はどこへ行った？ 気がつくと、ニュース、電話、YouTube、LINE、メール、いろいろな画面が重なり合っている。いつの間にこんなに使ったんだ？ というときありますよね。このとき、いちばん手前に出ている画面がフォアグラウンドということになります。それ以外はバックグラウンド状態。



では始めます。事件当日の11月13日15:12に、被害者である辻氏のスマホにメールが届き、「You Got Mail」という文字のお知らせ（これ以降、ポップアップと呼びます）が表示されます。表示されたのは15:12でした。このときLINEの画面はバックグラウンド状態でした。その後、辻氏のスマホにLINEスタンプがダウンロードされます。これに関しては2通りの解釈ができます。①誰かがそこにいて手でLINEスタンプをダウンロードした。②自動でダウンロードされた。しかし、この②が成立するには条件があります。15:12～16:37の間に誰かが「You Got Mail」のポップアップに触れ、解除しないとイケないのです。その日、iPhone4に起こったことは下記です。

- 11月13日（事件当日）15:12 辻氏のスマホにメールAが着信 「You Got Mail」のポップアップが表示される
- 15:12～16:37 誰かが「You Got Mail」のポップアップを解除
- LINEがフォアグラウンドになる
- 自動ダウンロードが可能になる
- 11月14日（事件翌日）11:00 辻氏のスマホにメールBが着信 「You Got Mail」のポップアップが表示される
- このときLINEはフォアグラウンドから数えて2番目のバックグラウンド
- 11月14日（事件翌日）15:00 警察が座椅子の陰にあるスマホを発見

弁護団は当初①の手動ダウンロードを主張し、そこには真犯人Xがいたはずだと考えました。しかし、先日の三者協議後の記者会見では「死体を目の前にしてダウンロードしたのか？ と考えると、You Got Mailのポップアップを解除したことで自動ダウンロードされたと考えるのが自然」（井戸謙一弁護士）として、この可能性を視野に入れました。

一方、検察は誰かが触ったとかではなく、ずっとフォアグラウンド状態だったと主張しています。それに対して裁判官は「ポップアップが出ている状態でもLINEスタンプの自動ダウンロードが可能なのか、LINE社に聞くように」と渋る検察に指示したそうです。

更にここに映次さんの解説を加えてみましょう。スマホの発見時、LINEはフォアグラウンドではなく、バックグラウンド状態だった。つまり誰かがポップアップを解除した結果、LINEスタンプが自動ダウンロードされた。または真犯人Xが手動ダウンロードした。この可能性しかない。要するに検察が映次さんの無実を証明したようなものだ、というのが彼の見立てです。（なつし聡）

